

かながわの交通

2017 11 月号

交通安全年間スローガン受賞作品(全日本交通安全協会会長賞)
一般部門 A: 運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

おさきにね
どうぞどうもで
なごむ道



平成29年 交通安全功労者表彰式



表彰式に臨む石坂会長

(横浜市西区)



二輪車運転気をつけて!

ヘルメットはもちろん、胸部プロテクター・エアバックを着装しましょう。

二輪車運転講習で「安全運転の知識と技能」を習得しましょう。

定期開催

神奈川県警察～セーフティライダー・スクール (SR)

二輪車普及安全協会～グッドライダーミーティング (GM)

警察本部・警察署では警察官を派遣して企業や学校などで講習会を開催しています。
問い合わせは(公財)神奈川県交通安全協会まで

二輪車事故
多発!!

◎県内の交通事故発生概況(平成29年10月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成29年		23,420	113	27,695
平成28年		22,114	106	26,426
増減数		+1,306	+7	+1,269
増減率		+5.9	+6.6	+4.8

	総数	男	女
県人口	9,161,139	4,570,333	4,590,806
免許人口	5,624,505	3,228,859	2,395,646
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成29年10月1日、免許人口は平成29年9月末現在)

平成29年交通安全功労者表彰式

（1,482人と245団体が受賞）

平成29年交通安全功労者表彰式が11月2日（木）横浜市内西区の県立音楽堂で行われました。表彰は県知事表彰、県公安委員会表彰、県警察本部長表彰など各表彰が行われました。紙面の都合により県警察本部長と県交通安全協会会長の連名表彰受彰者の方々を紹介し

ます。（敬称略）

受彰者（団体）の皆様おめでとうございます。

神奈川県警察本部長
神奈川県交通安全協会会長
連名表彰

交通安全功労者(99人)

加賀町 藤本泰子
山手 吉田征樹
伊沢正 川上氣由
南 佐野典子
大村忠士 依田龍治
羽柴悌二 依田龍治
伊勢佐木 依田龍治
牛山裕子 野口瞳
田代信太郎
戸部 石川ひさ子
清水妙子



（交通安全功労者・優良運転者表彰）

保土ヶ谷 山本貞雄
旭 中野曉美
大島くに子
港北 加藤孝行
緑 益田栄嗣
矢嶋英樹
戸塚 金子重晴
廣瀬泰久
泉 安西利市
白井孝之 高梨敏光
瀬谷 石川英昭
川崎 荒金嘉昭
川崎臨港 青山悦郎
枳田勝憲 新井トキ子
高津 石川正

宮前 樋山英夫
杉田公男
多摩 相田一男
麻生 伊藤廣一
横須賀 今雅史
三浦市 吉田澄子
井戸幸隆
逗子市 平野佳一
鎌倉 岩崎昭次
藤原次郎
大船 小野田幸子
澁木清二
藤沢市 高橋功一
鈴木薫 吉田輝夫
藤沢北 片山利通
滝沢百々子 井上嘉直
飯田正 新倉壽
神谷雅昭 北村正一
茅ヶ崎地区 小川博美
内田稔 石井政幸
松永輝明
平塚市 岸一夫
坂戸秀範 矢田誠規
大磯地区 田中初枝
小田原 府川進
瀬戸勝義
秦野市 高橋信男
熊澤庄市 遠藤進
赤西正文 勝山真一

平成29年交通安全功労者受彰者

表彰者	種別	受彰者数
神奈川県知事	交通安全功労者(個人)	52
	交通安全功労者(団体)	15
神奈川県公安委員会	交通安全功労者(個人)	10
	交通安全功労者(団体)	10
神奈川県警察本部長	交通安全協力者(個人)	75
	交通安全協力者(団体)	25
	優良運転者(事業用)	80
	優良運転者(自家用)	50
神奈川県警察本部長(連名) (公財)神奈川県交通安全協会会長	交通安全功労者	99
	優良運転者	243
(公財)神奈川県交通安全協会会長	交通安全功労者	109
	交通安全優良団体	32
	優良運転者(20年)	157
	優良運転者(15年)	320
	交通安全功労者	18
神奈川県警察本部長(連名) (一社)神奈川県安全運転管理者会連合会長	優良安全運転管理者	32
	優良運転者	49
	安全運転管理優良事業所	62
	優良安全運転管理者会	3
(一社)神奈川県安全運転管理者会連合会長	交通安全功労者	24
	優良安全運転管理者	68
	優良運転者	96
	安全運転管理優良事業所	98
計	個人小計	1,482
	団体小計	245
	合計	1,727

佐野紘一 窪寺みどり
小林佳子 三川ひとみ
梶山アイ子 森 広子
池田信子
伊勢原 林一弥
松浦信利
厚木警察署管内
澤村隆幸 原好美
永野保夫
大和綾瀬 石岡嘉彦
藤原貞一 青俊三
岩部清子
座間 中山巖
後藤哲雄

優良運転者(243人)

相模原南 加藤正雄
海和秀行 大野勝義
園田真夫 上島一房
今井正 福岡藤美
相模原北 堀内和久
津久井 瀧本和紀
塚本 萩原藤男
小川達雄 後藤憲行
浦賀 宇井絹子
加賀町 細谷成弘
山本達 加藤充
松永博 高橋亘
黒澤文則 井指一弘
山本真一 三上正己

交通安全 元気生きがい いい老後

大原孝信 富田浩一
磯子 金 久盛
五神健一 野中春次
宮下尚仁 荏部世之子
金 沢 西村栄次
泉澤美幸 廣木正治
持永博光 栗山利夫
南 平戸久美子
稲葉賢一 辻 和子
清水 豊 窪田一男
伊勢佐木 大島大平
神奈川 菜花 衛
大原芳明 中島末一
鶴 見 井上愛子
安塚 浩 蘭 隆雄
笹原信雄
旭 徳田英男
木川正洋 熊田正徳
安孫子正治
港 南 松下泰生
小林俊之
港 北 前堀 務
森 雅子
緑 幾永厚生
奥山勝實 日下部秀雄
磯貝 隆 川島忠夫
友井伸幸 村上俊雄
鈴木豊子 平山 均

本所敏江 平野孝文
村井正孝 村松芳一
青 葉 淵元秀春
安並 憲 田頭和夫
後野 武 小林 武
戸 塚 河原林桂一郎
酒井菜美子 田崎昭將
栄 吉川秀夫
泉 松本 力
井上 征 石川春美
河野悦明 柳瀬裕彦
小山憲八
川 崎 小野寛之
本間秀文 木村光一
川崎臨港 鬼多見ひろみ
滝口泰治 渡辺 博
幸 原田峰明
林 早苗 山本陽吉
大沼良久 井上安弘
山本留吉 伏見太里
中 原 伊藤敏彦
小泉直子 曾根田陽子
安元啓二 赤間和夫
渡邊美津江 笠原良之
萩原 隆 見沢康則
森本孝二郎 山崎一志
高 津 長田藤雄
齋藤 勝
宮 前 安藤昇次

工藤忠男 菰野英雄
佐々木信智 関根 猛
持田和江 川島芳茂
多 摩 斉藤トモ
鈴木 豊 中倉津喜子
横須賀 角田征治
二見恵一 蒔苗千代子
御園生修 風間カツ江
廣瀬 昭 近藤英男
屋井泰之 向 修子
綿引勝利 佐藤武見
後藤俊吉 前島 洋
堀井国彦 朝倉みつえ
原雅一郎 大杉明弘
大井 誠 市川克之
佐々木守 嘉山明彦
高橋一江 金村浩子
坂神茂美 高森信之
鈴木貴幸 三谷幸之郎
田 浦 杉山英司
大木賢一郎
浦 賀 長谷川明
寺谷刃雄 杉測武久
齋藤 學 金子政子
市川とし子 後藤 勲
野村恵子 新田幸一
宇井敏彦 安田博尚
葉山町 木村緑一
高橋 仁 佐川徹雄

鎌 倉 山口敏子
大 船 小林 正
藤沢市 菅原智栄子
松崎寿次 高橋寛三
中川誠治 宮戸 章
藤沢北 前田己義
茅ヶ崎地区 市橋淳熙
平塚市 小林安男
原田隆博 原 幾造
石田定吉 尾上弥市
大磯地区 沼田のり子
佐藤武史
小田原 中村利雄
下屋敷良隆 相原かおる
鈴木三夫 加藤和昭
蓮見 靖 小川範安
渡邊光春 蒲田 博
近藤黎子 遠藤松枝
足 柄 伊藤浩樹
杉本葉子
秦野市 小笠原義幸
伊勢原 今井由高
齋藤和寛 菅野軍四郎
厚木警察署管内
加志田眞基郎 柴山伸子
平島兼明 三栖百合子
向井幸子 長嶋秀光
草野裕子 中野幸雄
櫻井章雄 多田健一郎

大和綾瀬 阿部洋一
原 政己 星野 進
佐藤清喜 下澤盛男
小倉久雄
座 間 宮本和千代
海老名市 岩本賢二
坪井久光 竹本隆利
堺澤久子 岡部博子
岩本善美 加藤 萩
兼子園恵 八巻眞一
室井金司 菊地一美
浜野由美子 尾田 博
藤原美代子 梅木和郎
菅野美津夫 大柴良一
相模原 井上京美
奥山喜久江 小野寺末雄
勝田哲實 倉橋勝利
小針すみ子 佐藤義章
杉山洋之 鈴木新一郎
丹治美智子 中坪秋男
中村四郎 永井寿子
西澤 正 林 隆治
松尾秋夫 若林 豊
相模原南 渋谷房郎
相模原北 嶋 敏陽路
黒沢秀介 新野晃平
大貫智三 馬場崎和子
津久井 石川達見
井上文男 鈴木美代子

飲酒運転根絶強化月間

● 実施期間

平成29年12月1日(金)～12月31日(日)の1か月間

● 目 的

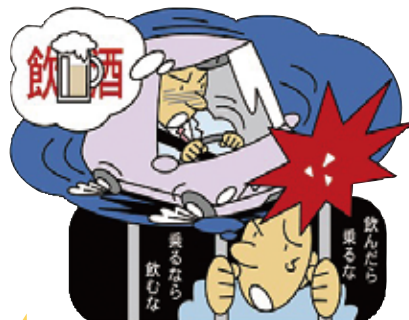
悲惨な交通事故を引き起こす飲酒運転を根絶するため、飲酒運転の危険性、悪質性を訴える運動を県民総ぐるみで展開します。

● スローガン

乗る人に 飲ませるあなたも 犯罪者

● 重 点

- ・ 飲酒運転根絶運動の周知徹底と広報啓発
- ・ 飲酒運転を助長する環境の根絶
- ・ ハンドルキーパー運動の推奨



飲酒運転で人身事故を起こすと、

危険運転致死傷罪

で最高懲役**20年の懲役**に問われることも!!

飲酒運転も飲酒運転周辺者も厳罰!!

酒酔い運転

罰則 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
処分 点数35点 免許取消し(欠格期間3年)

酒気帯び運転

罰則 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
呼気中アルコール濃度0.25mg/ℓ以上
点数 25点 免許取消し(欠格期間2年)
処分 呼気中アルコール濃度0.15～0.25mg/ℓ未満
点数 13点 免許停止(停止期間90日)

運転者以外の周囲の責任

車両等の提供者、酒類の提供者、飲酒運転と知って同乗した者は、酒酔い運転と酒気帯び運転とで違いはありますが、最高5年以下の懲役又は100万円以下の罰金

受賞おめでとうございます

警察本部長・地域交通安全活動推進委員協議会 連絡協議会会長連名表彰

交通の安全と円滑を図るために活動している中で、顕著な功労のあった原則として在任期間10年以上の個人と、多年にわたる地道な推進委員協議会活動により顕著な功労があった団体を対象として毎年表彰しています。



● 交通安全功労者(50人)(敬称略)

安藤知侑、小林壽志、匂坂 洋(逗子)、橋本雅之、森 絹子(鎌倉)、小和口三郎、高田辰二(大船)、田村一彦(秦野)、宮田光庸、宮本正義(港北)、長谷川由美子(茅ヶ崎)、石井靖彦、宇内達也(横須賀)、森 雅宏、中込政彦、角田正勝(栄)、赤津武雄、持田知介、吉田守(高津)、丸岡敬典、小林康記(浦賀)、鴨志田隆一(都筑)、柳下千佐子(金沢)、井上陽子(戸部)、吉村正夫、鴨志田 進、澁谷裕孝(青葉)、井上 宏、府川 仁(松田)、高木正俊(加賀町)、小川昭二(神奈川)、岩倉信之(磯子)、東福寺五男(藤沢)、谷川 昇、高久昭治(南)、齋藤忠衛(川崎臨港)、田中忠雄(座間)、齊藤義和(葉山)、佐久間幸志(海老名)、鹿島義久、和田鎮男(中原)、前田幸一(津久井)、眞壁初枝、野口徳儀(藤沢北)、小澤慎一(旭)、角田道廣(三崎)、北井 道(瀬谷)、秋山芳美(相模原)、原 利成(幸)、石 安治(伊勢原)

● 交通安全功労団体(3地区協議会)

- | | |
|--------------------------|----------|
| ・ 南警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 | 代表：置田光男 |
| ・ 戸部警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 | 代表：三石孝司 |
| ・ 都筑警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会 | 代表：鴨志田隆一 |

自転車安全整備制度推進会議(関東ブロック)

「自転車安全整備制度(TSマーク制度)」の普及・促進を図るため、10月5日(木)千葉県千葉市において(公財)日本交通管理技術協会主催による「自転車安全整備制度推進会議(関東ブロック)」が開催されました。

この会議は、毎年、ブロック内の都県自転車安全整備管理者(自転車商協同組合理事長)及び都県交通安全協会専務理事等が一同に会し、開催されています。

会議の前に、昨年度TSマークの普及促進に功労があった協会等に対する感謝状の贈呈が行われ、当県協会も「TSマーク交付枚数の部」で受賞しました。



感謝状を受ける只野専務理事(左)

会議では主催者、来賓からそれぞれ挨拶があり、主催者側から「TSマークの普及拡大状況」、「自転車事故の高額賠償事例」等についての説明があり、その後ブロック内各都県各交通安全協会等からTSマークの普及拡大方策についてそれぞれ事例発表の後、質疑応答、今後のTSマークの普及拡大に向けた活発な討議が行われました。

交通事故の悲劇に学ぶ ⑤3

●「安易な考えによる大きな代償」会社員(36歳)

私はそれまで、交通事故をしたことが全くなかったので、TV等でよく飲酒運転や居眠り事故を起こした悲惨な場面を見ても、「自分には関係のないことだ、自分は大丈夫だ。」と交通違反や交通犯罪を軽く考えていました。

私は、そういったルールや規則を軽視していた結果、「私は大丈夫」という安易な考えで飲酒運転をしてしまい、尊い命を奪うという最悪な事故を起こしてしまいました。そして、私は今、市原刑務所に入り、受刑生活を送っています。

その日、私は会社で嫌なことがあり、仕事終わりに会社であったことの愚痴を聞いてもらおうと思い、同僚を誘って近くの飲食店に行きました。店に入り、食事をしながらお酒を飲みましたが、その時は帰りに運転代行を呼ぶか、家に電話して車を運転して貰おうと思っていました。その後、話も盛り上がり、いつもよりお酒も飲んでいたと思います。

気がつくと、いい時間となっていたので、私は店を出ました。同僚とは別の場所に車を停めていたので、店の前で別れました。その時同僚も何も言っていなかったが、代行を呼んで帰るだろうと思い、自分も車まで歩いて行きました。車に着き、運転代行を呼ぶか、家に電話するか考えましたが、私は早く帰りたいと思ってしまい、「家もそんなに遠くないし、通り慣れた道だし、そんなに酔ってないし、大丈夫だろう。」という安易で自分勝手な判断をしてしまい、そのまま車に乗りました。そして、起きるべくして事故が起きてしまいました。

事故を起こした道路は、街灯が少なく、かなり薄暗く狭い道だったのですが、よく通っていたこともあり、大丈夫だと過信していました。途中、ステレオの音量を上げようと思い、前方を確認後、視線を逸らして操作していたら「ガタン」という音が車から聞こえました。その時、何かにぶつかったのは分かりましたが、ステレオの音を大きくしていたため、衝撃音が小さかったこと、衝撃をあまり感じなかったこと、走行時は両側が暗かったことで、なるべく中央線側を走行していたことなどから、道路に落ちていた何かを踏んだのだらうと思いました。また、飲酒運転をしていて「まずい。」という気持ちもあり、その場から走り去ってしまいました。

その後、何だったのかなと心配しながらも大したことはないだろうと思い込み、走行していました。明るい道に出たところで車の異常に気がつき、車を止めて確認したところ、車の破損が酷く「これはただ事ではない。」と思い、嫌な予感がし、すぐに現場に引き返しました。現場に近づくと救急車が走っていく音、警察の車両が停まっているのが見えました。そして現場に着き、状況を見て嫌な予感は確信に変わり、私は人を



イラストは本文とは関係ありません

撥ねてしまったと分かりました。そこで現場にいた警察の人に「この事故は私が起こしました。」と言い、現場で逮捕となりました。

取り調べ中、被害者の方が亡くなられたことを知らされ、私は目の前が真っ白になり、「ああ人生終わったな。」と思いました。その後、裁判で自動車運転過失致死罪・道路交通法違反(酒気帯び運転・救護義務違反)に付き懲役3年という実刑判決を受けました。私が犯してしまった罪の重さを考えれば当然の結果です。被害者の方、ご遺族の方々にはどんなに謝罪をしても許されるものではなく、大きな悲しみと苦しみを与えてしまいました。そのようなことを考えれば3年という刑期はむしろ短いものではないかと思います。私が起こしてしまった事故による被害には終わりはありません。であるならば私がすべき謝罪や償いにも終わりはなく、責任をもって一生行すべきことなのだと思います。ただ、今は、事故のこと、被害者の方やご遺族の方々のことを決して忘れず、私自身が社会人として立ち直っていくことが大切なのだと思います。

出所後、ご遺族の方々にお許しをいただけるのならば、直接お会いして気持ちを伝えられればと思っております。そして私のような過ちを犯してしまう人が増えないよう「飲酒運転撲滅」や「自分は大丈夫」といった根拠のない自信は取り返しの出来ない現実につながってしまうことを私の周りにいる人たちと呼びかけ、悲惨な事故や事件が少なくなっていくこと、そして私のような安易な考えで過ちを犯してしまう方がいなくなることを心より祈っております。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「赎いの日々(第50集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 川崎信用金庫総務部 ————— 川崎市川崎区砂子
- (株)TFK横浜支店 ————— 横浜市中区住吉町
- 三球電機(株) ————— 東京都練馬区貫井

この人

143



津久井交通安全協会
会長
平栗 文夫さん
ひらぐり
ふみお



津久井交通安全協会は昭和24年に発足しました。今年で68年になります。政令都市である相模原市の緑区に位置し、山梨と隣接しています。管内には、城山・相模湖・宮ヶ瀬の3つのダムと山に囲まれて観光風靡な所です。一方、平成39年開業予定のリニア中央新幹線の車両基地予定地であるなど、これからの発展の可能性を秘めた魅力ある所でもあります。

今回、20年近く務められていた前会長から引継ぎ、今年5月から津久井交通安全協会会長に就任された平栗会長をご紹介します。

平栗会長は米どころである新潟県出身です。20歳の時、結婚を機に緑区城山に移り住み、30歳を過ぎて程なく奥さんの父親から半導体関連の会社を引継ぎました。今では岩手県に東北工場を増設して、1か月のうち5日間ほど東北に出張しています。

家業に邁進するかたわら、城山商工会副会長・城山地域体育協会役員をされ、子供から高齢者まで幅広い世代がスポーツ・文化を一緒に楽しむという趣旨の「NPO城山スポーツ&カルチャークラブめいぷる」の理事

長を創立当初から務めていて、地域での人望がとても厚い方です。

そんなボランティア精神あふれる会長は、平成元年から交通安全協会城山支部に入り、平成7年に支部長になり、その人間性を買われて平成11年に副会長に抜擢されました。

交通安全協会の活動では持ち前のリーダーシップを発揮され、警察署・関係機関・団体との連携、配慮を密にして、高齢者交通事故抑止等の交通安全運動や各季のキャンペーンを効果的に実施しています。

会長の趣味はテニス・ゴルフ・野球など幅広いです。また、会長のモットーでもあります人の繋がりを大事にするという事から「飲みニュケーション」(コミュニケーション+お酒)を奨励していて、カラオケでも積極的に歌声を聞かせていただいています。

津久井警察署も数年後には移転が決まっています。津久井交通安全協会も大事な時期ですが、どうぞお体をご自愛していただきまして、活躍していただきますようお願い致します。

(取材協力:津久井交通安全協会)

こんにちは
「逗子市交通安全協会」です

逗子市交通安全協会は、昭和28年4月に前身の逗子町交通安全協会が発足してから、今年で64年目を迎えました。この64年間は、逗子の街から1件でも交通事故をなくそうという一つの強い思いの元、逗子市や逗子警察署のご指導を得ながら、交通指導員、推進委員、交通安全アドバイザー、関係団体の皆様、免許会員、賛助会員の皆様など、実に多くの方々のご協力と地道な活動のおかげで成り立って来たという事を考えますと、本当に頭の下がる思いがします。

当協会の大きな事業としては、交通安全ポスターコンクールと広報紙「ゆとり」の発行が挙げられます。

小学生対象のポスターコンクールは毎年盛会で、今年16回を数え510点の応募作品がありました。来たる20回目の節目には、大人も参加してはどうかという声も今

から挙がっており、実現するかどうか楽しみです。

広報紙の発行は年2回で、交通安全協会の活動紹介や交通指導員の募集記事、道路交通法改正点の紹介など様々な記事を取り上げ、市民の皆様にも少し役立つ様な、交通安全についての情報を提供しています。創刊は平成元年で、来年30周年を迎えます。

広報委員は交通指導員を兼ねた役員と事務局で構成されており、企画の他に、完成した広報紙を市内の町内会や自治会の代表者宅まで直接配送もしています。配送は、編集委員以外の役員にもお手伝いをお願いしています。

逗子市は人口約58,000人、高齢化率31.5%ということもあり、最近では各家庭に1部ずつ配布の依頼をするやんわりお断りされることも出てきました。

近年の傾向としては、平成25年から鎌倉警察署での運転免許証即日交付開始、免許証自主返納者の増加という流れの中で、免許会員数の伸び悩みという現



状がありますが、役員達の知恵を出し合い、また近隣の三浦半島地区の交通安全協会の中での情報共有など様々な工夫をこらして、今後の協会のより良い運営をめざし、逗子市から1件でも交通事故を減らすための活動に貢献したいと考えております。

(市川 記)

地区交通安全協会の活動紹介



厚木警察署管内 本厚木駅前での交通安全キャンペーン



相模原北 橋本駅周辺での交通安全キャンペーン



藤沢北 湘南台駅周辺での交通安全キャンペーン



三浦市 警察署前での交通安全キャンペーン



座間 警察署前での交通安全キャンペーン

違法駐車追放運動、放置自転車クリーンキャンペーン



大和綾瀬 中央林間駅での交通安全キャンペーン



港南 洋光台駅前での交通安全キャンペーン



大磯 高麗地区での交通安全キャンペーン



海老名 海老名駅前での交通安全キャンペーン



加賀町 JR関内駅前での交通安全キャンペーン

インフォメーション

- 飲酒運転根絶月間 ————— 12月中
- 二輪車安全運転特別講習 ————— 12月9日(土)(運転免許試験場)
- 年末の交通事故防止運動 ————— 12月11日(月)~12月20日(水)